

当院で経皮内視鏡的胃瘻造設術を受けた方へのお知らせ

研究責任者：脳神経内科 荒畑 創

当院では、特定の治療を受けられた方の診療情報を使わせていただき、以下の研究を行います。本研究への情報の利用を希望されない方は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありませんのでご安心ください。

なお、お申し出の時点において、すでに研究結果が論文等で公表されていた場合には、その結果を破棄することはできないことをご了承ください。

1. 研究課題名：

当院実施の経皮内視鏡的胃瘻造設術の効果及び影響に関する後方視的調査

2. 研究の対象となる方と用いる試料・情報：

対象となる方：2003 年 04 月 01 日 ～ 2026 年 09 月 02 日の間に、当院で経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を受けられた方

用いる情報：診断名、生年月日、性別、問診事項、身体所見、検査結果(血液尿検査、画像検査、生理検査等)、診療録に記載の情報

用いる試料：本研究では新たな試料採取は行わず、診療録(カルテ)から取得した情報のみを利用します。

3. 研究の目的と方法：

神経筋疾患患者では、時に嚥下障害を伴う。これによる栄養障害、窒息、誤嚥性肺炎等を合併し、生命予後に影響を与える。

日本栄養治療学会や日本消化器内視鏡学会においては長期に経管栄養を予想される患者の場合に、ガイドラインにおいて胃瘻造設を勧めている。経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)は安全かつ簡便に胃瘻を造設する手技の一つである。

当院においても、一定数の PEG が実施されていることを踏まえ、これらの患者への治療効果、身体の状態について検討や解析を行うため、診療録より該当する患者のデータを後方視的に調査します。

※本研究において、外国にある者への情報提供は行いません。

4. 個人情報の取扱い：

情報には患者個人を特定できる情報は付けず、研究用 ID を付与して利用します。研究用 ID との方を特定できる情報を記載した対応表は、個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等：

研究期間：2026年 9 月 2 日 ～ 2029 年 9 月1日

試料・情報の利用開始予定日：2026年 9 月 2 日

6. 研究実施体制：

研究責任者

脳神経内科 荒畑 創

研究分担者

脳神経内科 吉村 基

脳神経内科 渡邊 暁博

脳神経内科 栄 信孝

脳神経内科 本田 裕之

脳神経内科 山本 明史

脳神経内科 笹ヶ迫 直一

院外共同研究者

西山醫院 西山 努

7. ご質問・ご相談、および拒否のお申し出に関する連絡先：

本研究に関するご質問や、ご自身の情報が本研究のために提供及び利用されることを希望されない場合には下記までご連絡ください。

<連絡先>

担当者：神経内科医長 荒畑 創

電話番号：0944-58-1122(代表)